

東北大学における国際戦略の位置づけ

研究第一

門戸開放

実学尊重

東北大学ビジョン2030：最先端の創造、大変革への挑戦

東北大学のミッション：指導的人材を育成し、世界的に卓越した研究成果を創出して、平和で公正な人類社会の発展に貢献する2030年に向けたビジョン（あるべき姿・ありたい姿）

国際戦略：

国際協働の深化と包括的国際化によりミッション・ビジョンを高いレベルで実現

- 世界から尊敬される大学としての国際協働の戦略的推進（Vision主要施策56）
 - 世界から尊敬される三十傑大学をめざして東北大学の国際ブランド力を強化し、世界の大学、学術団体、産業界および市民等との戦略的パートナーシップに基づく国際協働を推進
 - 学内の多様な構成員による幅広い国際連携活動を基盤としつつ、「選択と集中」によって実効性を高めた国際戦略を策定・実行し、国際協働を深化
- セクシヨンの壁を越えて全学一体となった包括的国際化の推進(Vision主要施策57)
 - これまで個別に進められてきた、教育、研究、産学共創、社会連携などに関する国際的活動を全学的に連携させ、包括的国際化（Comprehensive Internationalization）を推進
 - 出島的な国際化からの脱却を目指す取組みを加速するために各構成員の資質向上と意識改革を図るとともに、誰もが国際的活動に参画しやすい体制構築と環境整備を行うことによって、世界から尊敬される三十傑大学を目指す本学にふさわしい組織文化を醸成



変革期を迎えた世界

- グローバリゼーションとローカリゼーションの同時進行
- イノベーションを軸とする産業構造の変化(第4次産業革命、デジタル革新等)
- 知識の共有・集約により価値を創造し社会問題を解決する「知識集約型社会」で活躍できる人材ニーズの高まり

国内外の課題と求められる対応

- 持続可能な世界の実現のための国際目標(SDGs)への取組
- 地球規模の国際協働による災害対応、減災・復興への取組(仙台防災枠組)
- 国境を越えた環境問題解決への貢献(パリ協定)
- 高齢化・人口減少等、世界に先駆けた超成熟社会への対応

東北大学のアイデンティティ

- 一世紀以上の歴史に立脚し、グローバルで最先端の知の創造を担う、日本を代表する総合研究大学として未来へ挑戦
- 「社会とともにある大学」として幅広い人材を受け入れ、実学に根ざした人材育成と知の創造で世界に貢献
- 課題先進国・地域として高い潜在力を持つ日本・東北地方のグローバル社会への接続と発展を先導



国際戦略のプロセスとターゲット

プロセス1：国際協働の深化

多様な学外パートナーと英知を結集、自由闊達で有効な国際協働を戦略的に深化させる

プロセス2：包括的国際化の推進

国境を越えた「門戸開放」を通じ、世界の多様な人材・資源・ネットワークを惹きつけるハブとなる



ターゲット1. 世界的視野に立つ教育

国内外から優秀な学生・教員を惹きつけ、大変革時代の社会を世界的視野で力強く先導するリーダーを育成する

ターゲット2. 世界最先端の研究

卓越した学術研究を通して知を創造、新たな学問領域の開拓とイノベーション創出を推進する

ターゲット3. 国境を越えた産学連携

グローバルイノベーションキャンパスや国際ネットワークを舞台に、国際産学連携を展開する

ターゲット4. 社会課題を解決して世界に貢献

「社会とともにある大学」として、多様な世界的社会課題の解決に向け先導的役割を果たす



国際戦略のアクション：プロセス

プロセス1. 国際協働の深化

- 国際交流をより開かれた形で展開するため、国際学術交流協定の指針を明確化する
- 本学と互恵的関係を構築できる海外大学との戦略的パートナー制度を積極的に活用する
- 国際交流データを一元管理し、モニタリングや評価を通じた国際交流の活性化に活用する
- 海外拠点や大学間コンソーシアムを有効に活用する
- 学内外のネットワークを活用し、地域や国ごとに特徴ある国際交流を実施する
- 海外同窓会等の地域や世代を超えた東北大学海外ネットワークの充実させる
- 国際広報の展開により国際的プレゼンスを向上させる

プロセス2. 包括的国際化の推進

- 「門戸開放」の理念に基づき、国籍、宗教、人種、性別、年齢、障害、性自認・性的指向等の相違にとらわれない多様な価値観を認め合う大学コミュニティを形成し、構成員の多彩な能力を発揮できる環境を整備する
- 出島の国際化から脱却し、全学の諸活動に国際的視点を有する組織文化の醸成を目指し、全学キャンペーン、ネットワーキングを推進する
- 日英二言語体制を徹底し、非日本語話者が大学のあらゆる活動に主体的に参加し、貢献できる環境を整備する
- 国際通用性のある報酬体系や就労環境の実現を目指す
- 国際関係部署や委員会等を見直し、企画立案機能を強化し、意思決定を迅速化する



ターゲット1. 世界的視野に立つ教育

- 国際学位コースの拡大を中心とした、優秀な留学生の積極的・戦略的な受け入れを拡大する
- グローバル社会を先導する人材の育成を基軸とした学士課程教育プログラムを改革する
- 国際共同大学院プログラムによる、世界最先端の研究及びプロフェSSIONAL教育と接続した国際協働教育を充実させる
- 国際共修を高年次や大学院まで拡大し、グローバルシティズンシップ、ダイバーシティへの確固たる理解と行動力を育成する
- 外国語運用能力の向上等を通じた学生の留学や国際キャリア支援を強化する
- 国立大学最大の収容力を持つユニバーシティハウス（国際混住寮）などを有効活用し、キャンパスの国際化を全学展開

ターゲット3. 国境を越えた産学連携

- ビジョン共創型パートナーシップに基づく、グローバル企業との大型産学連携を加速させる
- 東北大学流オープンイノベーションであるB-U-B（Business-University-Business）モデルをグローバルに展開する
- 次世代放射光施設を活用した科学技術イノベーションを創成し、新青葉山キャンパスをグローバルイノベーションキャンパスにする
- 海外有力大学等との戦略的連携を通じて、グローバルに通用するアントレプレナーを育成支援する
- 国際的産学連携をリスクなく円滑に推進するため、知的財産の保護、国際契約及び安全保障輸出管理の体制を強化する

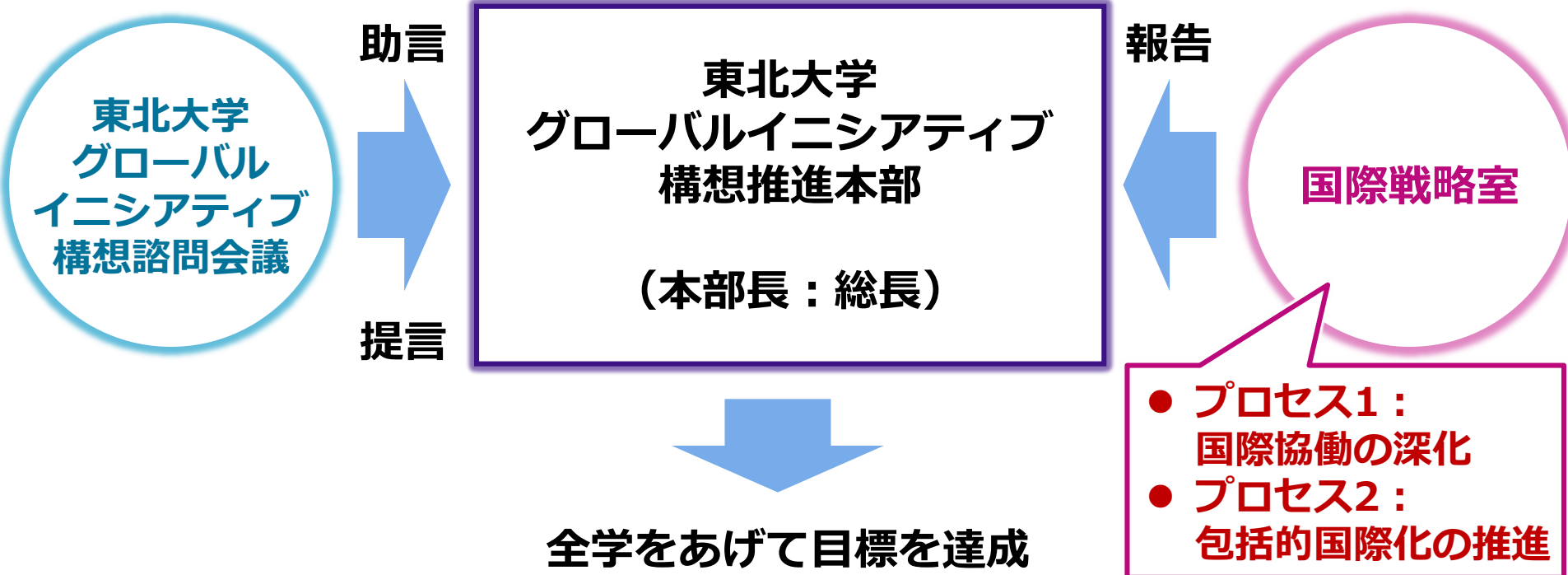
ターゲット2. 世界最先端の研究

- 本学が世界に卓越した強みを有する「材料科学」、「スピントロニクス」分野及び、世界に先駆けて創成すべき分野である「災害科学」、「未来型医療」分野で世界トップレベル研究拠点を形成する
- 本学が世界レベルのポテンシャルと研究資源を有する分野において、海外のパートナーとの協働を深め、世界を先導する国際研究クラスターを形成する
- 海外有力大学や研究機関と協力し、ジョイントラボやクロスアポイントメントを活用した研究のグローバル展開をはかる
- ダイバーシティの推進により開かれた研究環境を整備し、多様な構成員の自由闊達な研究交流・国際共同研究を支援する
- データや動向分析を踏まえた戦略的な国際共同研究の推進による国際プレゼンスの向上をはかる

ターゲット4. 社会課題を解決して世界に貢献

- 「仙台防災枠組み」での国連との連携、災害統計グローバルセンターの災害被害に関する情報の収集やアーカイブ化を通じて世界の防災能力向上へ貢献する
- 持続可能な世界の実現のための国際目標(SDGs) や世界的な環境変化への学際的国際共同研究への積極的参加や先導を通じ世界的社会課題の解決に貢献する
- 少子高齢化など、日本と東北が世界に先駆けて直面している先進的な社会課題について、「未来型医療」などの中核的研究拠点を活用し地元コミュニティと連携しながら国際共同研究とその発信を推進する

国際戦略の推進体制



ターゲット1. 世界的視野に立つ教育

国内外から優秀な学生・教員を惹きつけ、大変革時代の社会を世界的視野で力強く先導するリーダーを育成する

ターゲット2. 世界最先端の研究

卓越した学術研究を通して知を創造、新たな学問領域の開拓とイノベーション創出を推進する

ターゲット3. 国境を越えた産学連携

グローバルイノベーションキャンパスや国際ネットワークを舞台に、国際産学連携を展開する

ターゲット4. 社会課題を解決して世界に貢献

「社会とともにある大学」として、多様な世界的社会課題の解決に向け先導的役割を果たす